

千葉大学医学部附属病院で消化管の治療をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年4月1日

消化器内科

消化器内科では、「生理的環境下における食道粘膜免疫機構の解析」に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2000年4月1日～2024年4月1日の間に先端応用外科にて食道癌の手術をされた方

1. 研究課題名

「生理的環境下における食道粘膜免疫機構の解析研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、附属病院臨床研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

この研究は、食道の免疫システムを、遺伝子発現解析を含めた研究により明らかにしようとするものです。近年、食道粘膜の炎症の病気（特に逆流性食道炎や好酸球性食道炎）の患者さんは増加傾向にあります。食道はご飯や空気中のアレルゲン・胃からの消化液の逆流に晒されている場所なので、それらが炎症の原因となっている可能性があります。しかし、もともと備わっている食道粘膜の免疫システムの研究はほとんど進んでいません。そのため、現在は根本的な治療方法がなく、対症療法（症状を緩和するのみ）しか行えていません。

本研究では、食道粘膜の細胞に注目して、食道粘膜の炎症に関わる細胞について遺伝子発現解析などを用いて探すことを目的としています。これまでに手術で採取された食

道の組織検体について免疫染色を行うことで、それらの細胞の分布や特徴を明らかにします。食道粘膜の炎症に関わる細胞について研究することで、食道の病気の原因を探り、より効果が強く、根本的な治療法を新しく開発することを目指しています。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

手術時に採取された食道の組織検体（診断に関わらない部分）

診療録に記載されている病歴、既往歴、内服薬、アレルギー歴、血液検査値

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 講師 松村 倫明

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。（※研究成果の発表後以外に参加拒否の申し出に対応できないケースがあれば、その旨も記載してください）試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出くださ

い。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

消化器内科 講師 松村 倫明

043（222）7171 内線：5241